

2008年5月26日：東京地下鉄株式会社あて
「東武伊勢崎線竹ノ塚駅付近の鉄道高架化早期実現に関する要望書」

東武伊勢崎線竹ノ塚駅付近の鉄道高架化早期実現に関する要望書

貴社におかれましては、平成17年3月15日の東武伊勢崎線竹ノ塚駅付近の踏切事故後、抜本対策である鉄道立体化の検討について、ご協力いただき厚く御礼申し上げます。

お陰様をもちまして、平成19年度当初、足立区が事業主体となる東武伊勢崎線（竹ノ塚駅付近）連続立体交差事業が、新規着工準備箇所として採択されました。

現在、足立区では、鉄道の比較設計や関連事業計画の検討等を実施し、平成23年度の事業着手を目標に、全力を挙げて取り組んでいるところでございます。

また、鉄道立体化に合わせたまちづくりにつきましても、区北部の地域拠点として、鉄道立体化に合わせた都市機能の更新、地域商業の活性化等を図ってまいりたいと考えております。今後も、地域住民と協働し、まちづくり構想策定に向けて精力的に検討を進めてまいります。

こうした取組に加え、足立区は、連続立体交差事業の着実な実施を担保するため、竹の塚鉄道立体化資金積立基金を設置し、将来の財政負担に備えております。

つきましては、東武伊勢崎線竹ノ塚駅付近の鉄道高架化早期実現に向け、東武鉄道株式会社とともになお一層のご支援ご協力をいただきたくお願い申し上げます。

平成20年5月26日

竹ノ塚駅付近鉄道高架化促進連絡協議会会長
足立区長 近藤 や よ い (印)

東京地下鉄株式会社 代表取締役社長 梅崎 壽 様